

8/11 毒液

「早く死ねといふのか

安倍内閣は、参院選で「介護離職ゼロ」を掲げながら、選挙が終わると介護保険の大改悪に乗り出していく。しかし、この間行われた制度改悪で「介護難民」は深刻化。現場からは「早く死ねといふ」とか「悲鳴と怒りが噴出しています。

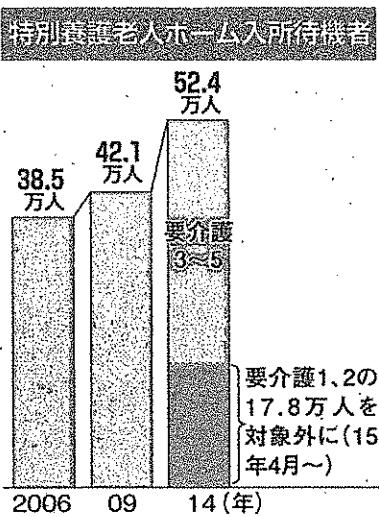
松田大地

1 億總活躍

龍溪先生全集

「自宅で要介護4の父」と、要介護2の母を介護していました。特別養護老人ホームへの入所を8年間も待ってきましたが、父は認知症が悪化。今年1月から父をショートステイに預け、自宅で母の介護を続けている」

(66)は肩を落とします。父得次さん(91)と母ソトさん(90)の介護のため定年後の再就職を断念。「昨年5月に妻が亡くなり、父はオムツをむしり取り、部屋や廊下を汚しながら、オムツ交換のたびに手の腕をかむようになります」



就寝時、ソトさん（左）  
を介助する吉廣さん

市内の特養「やすらぎホーム」（定員104人）でも、改悪前は220人の待機者がいましたが、108人に半減。入所できなくなつた要介護1、2の人は、在宅介護のままか、料金が高い「サービス付き高齢者住宅」などに入らざるをえなくなりました。

「やすらぎホーム」では15年度に40人も入所待ちのままでになりました。国は実態をまったく見ていない。同ホームなどの待機者家族や職員でつくる「特養ホーム入居待機者家族会」の林鶴雄会長（70）は憤ります。

特養に入れず『老老介護』に疲れ果て、夫の首を絞めそうになつたり、お金が底を突いて『介護破産』に追い込まれたりする人もいます。『早く死んでしまえ』と言われているのと一緒です」

吉廣さんは申し込んでいた。

全国の特養入所待機者は、2014年3月時点では、52・4万人でしたが、安倍内閣は15年4月から入所資格を要介護3以上に限定し、要介護1、2の17・8万人を門前払いにしました。

得次さんはショートステイに入りましたが、30日間の短期入所を繰り返しています。料金は特養の2・5倍の月14万円。ソトさんのデイサービスは月2万6千円かかります。「家計が苦しくなり、自分が中流だという意識もなくなりました。安倍首相は『介護離職ゼロ』と言つなら特養を抜本的に増やすべきです」と吉廣さん。

「日でした」

（2面）

8/11  
吉澤

## 「1億総活躍」

### 現実から批判

(一面のつづき) 万円超に跳ね上がり、利用を中断せざるをえません。A子さんは無年金で、収入は夫の年金だけであります。

横浜市に住むA子さん (80) は月6千円を超過する保険料が払えず、4月末までの1年間、1割負担のサービス利用料をいい戻しを受ける「償還払い」(=給付制限)にされました。入浴介助のデイサービスの利用料は月10日ほどの平均保険料

とほとんど手元に残りません。

### 無年金でも徵収

「朝は100円のパン一つずつで、昼は菓子をつまむ程度です。これ以上、切り詰めようがない。払うものは払えとばかりに、弱者、庶民からい戻しを受ける「償還払い」とみられます。

始の2000年からほぼ倍加。未収額は約276億円(14年度)で過去最高です。

滞納者に対する給付制限は14年度、1万3千人

に達し、資産の差し押さえました。

無年金の人を中心に集中して

えは初めて1万人を超えた。保険料が年金から天引きされない低年金

は、初めに書かれたA子さん

の介護保険被保険者証

とどうが安倍内閣は、「介護離職ゼロ」ところ

か要介護1、2の生活援

助や、車いすなど福祉用具貸与の保険給付外し、

費負担割合の引き上げ

を、消費税8%への増税

時に行なうと言っていたの

に、ほどこしたままで

す。

A子さんが通う横浜市緑区のみどり野診療所のソーシャルワーカー、松井由美子さんは、「必要な介護サービスが使えず重症化や衰弱につながる人が出ています。低年金は、すべての国民に健康やワーキングプア(働く貧困層)が深刻になるなか、保険料や利用料の減免こそ進めるべきです」と指摘します。

前出の林会長は言いま

す。「全員加入で強制的

に保険料を取り立てなが

ら、制度は改悪続きで国

民をないがしろにしてお

り、国家的な詐欺に等し

い状態です。憲法25条

明記しています。国は誰

もが安心してサービスを

受けられるように責任を

果たすべきです」